

健康管理の出発点

61年度の一般健康診査(40歳以上の方)が終わりました。

今年度は、対象者4578人のうち、2559人(56パーセント)の方々が受診されました。

異常のない方は、全体の約半数にすぎず、40歳過ぎたら年に1度の定期検診が健康保持のカギとなります。

あなたは、どれに該当しますか。表Iの流れを追ってみましょう。

受診した方は

○異常なし……1035人、40パーセントです。

○境界域……血圧、尿検査、肥満度等で、今後の注意が必要な方です。435人、17パーセントです。

○要医療……治療中の方、または直接医療機関で受診の必要のある方です。684人、27パーセントです。

○要精密検査……高血圧、尿検査陽性、肥満度等からよりくわしい検査が必要な方です。405人、16パーセントです。

要精密検査の方は

対象者405人中、受診者は338人、84パーセントでした。

精密検査の内容は表IIのとおりで、今年度から糖尿病を診断する糖負荷試験を組み入れました。

さて、精密検査の結果、異常のない方は91人で27パーセントです。70パーセント以上の方に、なんらかの異常所見があるわけです。その内訳は表IIIのとおりで、目立って多いのは糖尿病の疑いがある方で、検査を実施した半数の24人が受診の必要がありました。

